

めだかくらぶ



端午の節句

文責 福田 和子

5月5日は、端午の節句で、男の子のたくましい成長を願って五月人形を飾りますが、現代では子どもの日でもあり、男女の区別なく子どもの人格を重んじ、子どもの幸福をはかる日です。保育園でも子どもたちの健やかな成長を願い、五月人形を飾り、鯉のぼりをあげています。

4月28日、幼児クラスでは「端午の節句」のつどいを開き、鯉のぼりについての紙芝居を見たり、鯉のぼりの歌を歌ったりして、皆で端午の節句を祝い、楽しみました。



「わらべうた」開催中

地域の親子を対象に、園庭あそびやお楽しみプログラム（左記）育児相談を行っております。

【開催日】平日の月々金
（園行事により、変更あり）

【時間】10時00分～11時30分

◇事前の申し込みはいりません。
玄関のフザーをお鳴らしてください。



園庭の砂場には、スコップやバケツ、カップなどいろいろな玩具が棚の籠の中に入っています。ご自由にお使いください。

今月のお楽しみプログラム

5月26日（木）は『わらべうたで触れ合いあそび』と5月生まれの誕生会を予定しています。

当日のふれあいランチは、先着3組までとなっております。

1日より予約受付中（費用：1食250円）
なお、離乳食には対応しておりませんので予めご了承ください。



「れえろ、れえろ、れえろ」と言いながら、舌を上唇にそって舐めるように左右に動かして見せると、徐々に真似してやるようになります。その様子を見ると大人もうれしくなり褒め、赤ちゃんとの会話の間となりますよ。



目を合わせて おむつ替え

赤ちゃんのおむつを替えるとき、赤ちゃんに語りかけ、うたいかけることで、赤ちゃんの気持ちを育て、体を育てると言われています。
はじめに「ねんね」と言って赤ちゃんを寝かせ、「れえろ、れえろ、れえろ」と言い（うたい）ながら、舌を左右に動かして見せると、泣いている赤ちゃんも泣き止み、なんだろうとジッとこちらを見ます。そして「いたあー」と言って笑いかけると、赤ちゃんはしっかりと正面を向きます。
大事なことは、汚れたおむつを取るときには、「きれいにしてあげるからね」といつも語りかけ、赤ちゃんを安心させてあげることです。

ひとことコラム



子どもの成長は、寝返り、ずりばい、四つばい、たかばい、つかまり立ち、伝い歩き、歩行といった順序で進んでいきますが、這い這いをたくさんすることで、体幹がしっかりとて、転びにくい体になると言われています。成長には個人差がありますから、歩行ができる体になるまでゆったりと見守って行きたいものですね。特に足の指で蹴り進む運動は大切ですから、斜面があったら是非這い這いで登らせてあげてください。大きくなり歩行するようになっても、ワニのような姿勢で低いトンネルをくぐったり、雑巾がけのお手伝いを楽しみながらしたりするのもいいかもしれません。

『「わらべうた」で子育て 入門編』より

◇めだかくらぶの詳細や変更などは保育園前の掲示板でお知らせいたしますので、ご確認ください。